

会議の名称	令和6年度第1回合志市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議	
開催日時	令和6年9月12日 午前10時	
開催場所	合志市役所 2階大会議室(中)	
議 題	まち・ひと・しごと創生推進事業について	
会議の公開・非公開の別	<input checked="" type="radio"/> 公開 ・ <input type="radio"/> 非公開 ・ <input type="radio"/> 一部非公開 [傍聴者なし]	(一部) 非公開の場合、その理由
	/	
出席者	委員	坂梨徳昭、上田耕太郎、田中尚人、高橋 遼太、田中 敦、池永けい子、清原展彦
	行政	綾部 朝子、樋口 良平、栗木 清智、鷹巣孝之、平野彩愛、佐藤美和、池田聡、山口 直美、鬼塚 咲
欠席委員	永野 典詞、松原 寿幸、坂田 由美子	
会長挨拶	田中尚人 委員(会長)	皆さんこんにちは。熊本大学の田中と申します。私は昨年に引き続き2回目の会議になります。基本的に地方創生の仕事はそれぞれの自治体の特色、合志市らしい地方創生の事業を作っていて、行政の皆さんからご説明いただき、それを公民連携でいかに持続可能な形で続けていくのかという話し合いが大事です。ぜひ皆さんには、こんなことをやってみたいなど、ポジティブな発言をしていただければと思います。行政の皆さんも説明しなければならないではなく、良かったことやできなかったことなど、つまびらかに話していただいた方が私たちも話しやすいです。私たちは皆さんの立場に立てないので、あくまで市民の立場としてお話を聞かせていただきます。よろしくお願いします。
議事内容	①「健幸都市こうし」デジタルキッチンプロジェクト	
	《委員の意見等(要旨)》	
	田中尚人 委員(会長)	Food Lab合志様の自走について、何か資金の用途はあるのか。また、どのような方が働いているのか。
	商工振興課 樋口主査	デジタルキッチン以外にもレストランの経営など事業を行っており、そこからの資金やキッチンカー事業自体の売り上げ等もあるため用途はたっている。働いている方については、地元の方や本市以外の方も働いている。
	上田委員	合志市は市街化調整区域が多いため、新規事業のために紹介できる不動産が限られている場合がある。しかし、キッチンカーは構築物ではないため、事業者が新たに事業を始めやすい形態。これにより、事業転換もスムーズに進みやすく、合志市にとっても効率的だと思う。市街化調整区域の制約を乗り越える一つの手段として、今後も積極的に活用していただきたい。
	田中尚人 委員(会長)	キッチンカーは設備投資が難しいと聞いたことがあるがその辺りはどうなのか。
	商工振興課 樋口主査	設備にもよるが改造が必要になってくるため、100万円単位の投資が必要。見た目も人を惹きつけるインパクトのあるデザインが必要のため苦労される方が多い。
	田中尚人 委員(会長)	地方創生は市役所内の連携が大事だと思うので他の課やその他機関との連携も方法として考えていただきたい。

②新たな視点での取組みによる持続可能な地域の実現プロジェクト	
田中尚人 委員(会長)	アプリを使用するとアプリの加盟者を増やすことが目的となりがちで、手段が目的となってしまう。そうではなくて、アプリが大事な生命線だとして使用する人を増やさないといけない。その先に健康になった方や健康づくりの仲間ができた方達を増やすことが究極の目的なので、しっかりとサポートし機能させなければいけない。なので周知ももちろん大事だが、そこが一つ懸念かなと思う。また、若い世代にPRしたいと言っていたが、市役所としてどこまでやろうとしているのか。例えば中学生全員が使えるようにしたいとなると、スマートフォンを持っているかという話にもなるため、教育委員会と連携するという話もでてくる。また、若年層を取り込みたいということであれば、働いている人の会社に働きかけることなどの必要もでてくる。
田中 敦 委員	うえるこアプリの実際の使い勝手の意見や感想はどのような感じか。
秘書政策課 平野主事	ごみカレンダーやチャージ機能、お金をチャージしてポイントが使える機能がある。ただ運用費がかさんでしまうためそこが課題である。
田中 敦 委員	合志市の国保特定検診受診率を高める目的があると思うが、検診受診率が同規模の自治体と比べて約10%低いことについては、理由があるのか。
秘書政策課 鷹巣課長補佐	調査はしたものの分析はできていないのが正直なところ。一つ考えられるのは自営業の方が比較的多いため、この方たちが受診せずに重症化して病院に行かれている可能性はある。
田中 敦 委員	その自営業の方がアプリをダウンロードし検診を受診していただくような導線をうまく作れたら課題解決のきっかけになると感じた。
田中尚人 委員(会長)	アプリの分かりやすい使い方や目的に応じた使い方などを、もっと皆さんに発信していただきたい。
上田委員	昨年バーチャルウォーキング大会に参加させていただいた。実際使用して思ったことは、大会のときは自分がどのくらい歩いたかや順位は見えていたが、それ以外で見える動機がなかなか生まれなかった。バーチャルウォーキングをきっかけにアプリを導入した方は多いと思うが、その他様々な機能があることが分からなかった。今はこの大会に依存しているところはあると思う。自分自身は大会以外のところでは使用していないので、先ほど話があったとおり、手段と目的の目的というところで、プラスアルファあるといいのかなと思った。
池永委員	アプリを使用している方たちが、誰かを紹介したら紹介ポイントが貰えるなどの仕組みがあれば人は増えていくと思う。
③市民と地域産業の共創が生み出すウェルビーイングなまちづくり事業	
田中尚人 委員(会長)	eスポーツで年配の方が積極的になるのはとても面白い。他市町村では子どもをターゲットにしているところもあるため、合志市では子どもや高校の部活とおじいちゃんおばあちゃんを組み合わせることで、より効果的になるかもしれない。健康づくりだけでなく、孫と競い合うといった新しい関係づくりの要素を取り入れるのも良い。また、行政と連携することで、さらに幅広い利活用が期待できるかもしれない。
池永委員	eスポーツは高齢者の方にも薦めているとのことだが、利用率はどのくらいか。
秘書政策課 鷹巣課長補佐	合志市全体での参加者が令和5年度で403名となっている。
池永委員	施設のような場所でされているのか。
秘書政策課 鷹巣課長補佐	実施サロン数が14カ所。施設は除いているので基本的には公民館や社会福祉協議会になる。
池永委員	外だと暑いので屋内のスポーツは人に薦めやすい。
田中尚人 委員(会長)	eスポーツは、公民館の活動として非常に相性が良いと思う。仲間を増やすきっかけにもなり、交流の場としても魅力的。外に出かけてみんなでワイワイ楽しむのが良いという話も聞くので、そういった活動ができる場所を確保できるとさらに良い。また、そのような場があることで、ご家族が年配の方を見守ることができる点も重要だと感じる。
秘書政策課 鷹巣課長補佐	中には、お孫さんからおじいちゃんおばあちゃんに対戦を申し込むこともある。
田中尚人 委員(会長)	親子だけではなく、世代を飛び越えた交流はとてもよい。